



千葉県有機農業推進協議会 主催企画 ～千葉県を有機の里にするために～ ご案内

●農場見学と地域物流を考える意見交換会

地域の物流関係者とともに圃場の見学と、農産物の物流の在り方についての意見交換をします。

○日 時:2024年3月21日(木)10:00～18:00

○場 所:市原市・いすみ市

1)農場見学(鉄道&マイクロバス) (10～16時)

訪問地:つるかめ農園(いすみ市深谷)

千葉県農林水産(株)(いすみ市岩船)

※つるかめ農園のお米を使ったおにぎりをいただきます。

2)意見交換会(16～18時)

こみなと待合室@五井駅前



○登壇者

- ・OneDropFarm 豊増洋右氏
- ・小湊鉄道(株)
- ・ちばだん 徳江倫明氏 ほか



※以下の2事業はすでに終了しました。

●地域商品開発に関する意見交換会

地域特性のある商品開発とオーガニックを広めるための販売戦略について意見交換しました。

日 時:2024年2月15日(木)17:00～19:00

●オーガニック学校給食フォーラムちば

学校給食の有機化実現に向け、先進事例について学び、農業者、自治体、学校関係者等と意見交換を行いました。

日 時:2024年2月29日(木)10:00～12:00

主催:千葉県有機農業推進協議会

共催:“有機の里づくり”千葉県団体連絡会(ちばだん)

E-mail:info@chiba-organic.life

TEL:070-5579-1321(星野)



2024/3/21

農場見学と地域物流を考える意見交換会

ローカル&オーガニックでの地域物流を考える。



○開催に向けて

小湊鉄道は五井駅から上総中野、そしていすみ鉄道につながり外房のいすみ市大原につながります。今回訪問する2つの農場はいすみ市にあり、一つは新規就農、一つは新しい農業法人の取り組みで、外房には小規模農家や兼業で有機農業を目指す新規就農者が多く、こまめな地域物流の構築が望まれます。近い将来、外房の有機農産物などを千葉県内や東京に向けての出荷を鉄道によるエコな物流で繋いでいく可能性などについて意見交換します。この時期、菜の花が満開の頃です。春の景色を楽しみ、そして大いに語りましょう！

1. つるかめ農園（鶴淵真一代表 いすみ市深谷）

つるかめ農園では、農薬はもちろん肥料も使わない自然栽培という方法を持ちいて10年以上前からお米づくりに取り組んでいます。家畜の糞尿や堆肥など動植物質由来の有機肥料を使う有機栽培とも違い、より自然の力だけで植物を育てる方法です。植物はしっかりケアをしてあげさえすれば、太陽と水と空気と生き物の循環が支え合う自然本来の力だけで、じっくり力強くたくましく育てゆきます。自然の調和と循環と常に向き合いながらお米を育てています。お米の収穫だけをみるのではなく、お米の育つ土壌や環境と共に育てゆくのです。

2. 千葉県農林水産株式会社（白石哲也代表 いすみ市岩船）

いすみ市岩船地域の谷地全体に広がる放棄地17町歩を再生し、自然栽培による米づくりに挑戦するという、大変画期的な取り組みの現場です。しかも集落各個と話し合い、集落全体で除草剤を使わない約束をしています。これは“みどりの食料システム戦略”にある有機農地の集約化方針に沿う典型的なモデルになる可能性があります。谷地の上にある溜池から水を供給しますので、基本的に水供給の期限がなく、水系が独立していることから早生から晩成まで栽培方法の選択ができ有機農業地域に適しています。これをモデルにして千葉の特長でもある谷地が“有機農業の里”になれば素晴らしいです。今年は、気候変動でここ数年溜池の水が減ったことで、今年は水田は5町歩とし、残りは大豆、小麦、小豆などで輪作体系を作り、盛り土したところではレモンなど果樹栽培にも挑戦します。

○参加申込み

以下のメールアドレスにご所属、お名前、連絡先をご登録ください。

※昼食代・電車賃の一部をいただきますが、そのほかは無料です。

”有機の里づくり”千葉県団体連絡会

メールアドレス

hoshino@chiba-organic.life（星野）

TEL:070-5579-1321

